

2017	1	10~ 11	顧客先でプロパンガスを交換し、トラックに戻ろうと下り坂（5～6m）を歩いていたところ、坂道が凍結していたため滑って転倒し、左手首を捻り打撲した。	47	417	2	1～ 9
2017	1	12~ 13	会社の車庫にて、事故車を搬送する為、レッキングアームに事故車を固定し、吊り上げようとしていた。固定ピンが十分固定できていなかったので修復作業をしようとしたところ、固定ピンが外れてしまい、瞬時にアームが真横に飛び、顔面を直撃し負傷した。なお、ヘルメットは着用していた。	48	229	6	10～ 29
2017	1	11~ 12	社内の作業場で梱包作業中、3m×2m・重さ80kgの枠組を、2人で持ち上げた時、右胸に痛みを感じた。	38	529	19	30～ 49
2017	2	9~10	当営業所内、荷締めレーンにてトレーラーに台木（105mm×105mm×1300mm、杉材、重さ約5kg）を積み込んでいた。5本目を積み込もうと中腰体勢で台木を持ち上げたところ、右腰に激痛が走り、その場で動けなくなった。	37	921	19	50～ 99
2017	2	10~11	料金所出口付近で小麦粉の配送中に他車両と接触し首を痛めた。	63	231	17	30～ 49
2017	2	9~10	トラックから荷物を下ろしている時に、荷台から荷物を持ったまま地面に落ちる時に、左手をついて、脱臼した。ヘルメット、安全靴は着用していた。	41	221	1	30～ 49
2017	2	14~15	B棟東側入り口付近にて、パレット格納用ラック（90cm×100cm×150cm）（以下逆ネスラックと言う）を三段に積み一段目の上部にフォークリフトの爪を刺し、壁際を部屋の奥へ移動していた。支柱の壁が緩やかに内側に傾斜していることに気が付かず壁際ぎりぎりを前進中、上段で音がしたため左側から確認をした時、上部の逆ネスラックが壁と接触しフォークリフトの屋根に落下した。左に頭を出していたため、接触した。	30	222	4	10～ 29

2017	2	16~17	倉庫内にて、住宅廃材の仕分け作業中、ともに同場所にてリフトに乗務し、パレットの移動を行っていた作業員が後方を良く確認せず、バックした為リフトの左車輪と被災者の右足が接触し、骨折、裂傷した。	67	222	7	30 ~ 49
2017	2	11~12	倉庫内にて、新人作業者に製品の在庫作業の指導を行う為、リフトに乗務させていた。製品が入庫し、その製品の検品作業を教えながら、リフト後方で台帳にチェックをしていた際、リフト作業者が後方を確認せずバックをした為、リフトの後方左車輪と被災者の右足甲が巻き込まれ、裂傷した。	62	222	7	30 ~ 49
2017	2	15~16	被災者は補助者と共にトラック荷台への巻取りの積み込みを終え、後部アオリが閉まり切らなかったためチェーンで固定しようとしていた。被災者はトラック右後部に立ち右手を伸ばしチェーン先のゴムバンドを車体から外そうとし左手は車体後部に掛けていたチェーンに手を添えていた。補助者は後部アオリを支えていたが、その状態で安定すると考え両手を離してトラック右後部側面に回りロープのトサ締めにかかろうとした時アオリが下へ倒れ、被災者は後部アオリのキャッチとチェーンに左手人差し指を挟まれた。	21	221	7	100 ~ 299
2017	3	19~20	社内大型車輛洗車場で大型トラクタヘッドの窓を脚立（高さ約77cm）に乗り洗浄していたところ、脚立が崩れ落下・転倒し、右手と右側胸部を打撲した。	49	371	1	30 ~ 49
2017	3	9~10	荷下ろし場で荷降ろし準備中に、ホースを繋ごうとホースのネジを締めるため中腰になったとき腰を痛めた。	41	921	19	10 ~ 29
2017	3	18~19	事業所倉庫内にて商品のピッキング作業中、パレットに載った商品をカゴ車へ運ぼうとした。パレットに載っている商品を持ち上げた際、足元の確認が不完全であり、商品が載ったパレットに足を引っ掛け、右ひじから倒れこんだ。	65	417	2	100 ~ 299
							50

2017	3	10~11	大型トラックの運転席から降りる際に、持ち手が滑り落下した。災害の原因は、本人が慌てて車を降りようとしたためである。	42	221	1	~ 99
2017	3	16~17	トラック荷台より左足から降りたとき、左足ふくらはぎ部分を痛めた。	57	221	3	1~ 9
2017	3	19~20	交差点にて赤信号で停車しようとした際、後続車から追突された。当該乗務員は社用車で前方を運転しており、後続車はお客様から預かったマイカーを別の乗務員が運転しており、社内間での事故となった。当日は雨で路面も濡れ、後続車のタイヤがスタッドレスタイヤであったため、制動距離が長くなってしまった。	46	231	17	~ 49
2017	3	15~16	荷卸先の会社でトラックを駐車して降りようとしたところ、横に柱があり20cmくらいしかドアが開かず、そこから出ようとしたら頭を挟んで怪我をした。	36	221	7	10 ~ 29
2017	3	8~9	路上において、赤信号のため停車していたところ、後ろから普通乗用車が約80キロのスピードで減速せずに追突してきた。	42	231	17	1~ 9
2017	3	10~11	営業所にて、4tユニック車のクレーンをリモコン操作し敷鉄板を荷台に積み込んでいた際、敷鉄板に繋いでいたワイヤーが劣化により切れ、敷鉄板が倒れてきたので逃げようとして後方に動いた際、尻もちをつく体勢で転倒し、トラックの荷台に着いた左手首を捻り、腰を荷台で強打した。	49	212	2	~ 29
2017	4	14~ 15	馬の積み直し作業を行っている際に、馬が暴れて接触し、左肩を損傷した。	24	719	6	50 ~ 99
2017	4	8~9	会社の車庫内にある荷物置場用のボックス（箱、高さ2m巾1.5m長さ3m）に上がり、鉄骨用の架台を取ろうとした際に足を踏み外し、箱の上から地面に落下し、腰を負傷した。	67	419	1	~ 29
			積荷のマテリアルリフト（資材リフト）を運搬返却作業中、トラックからフォークリフトで地面にマテリアルリフトを降ろし、車輪が				10

2017	4	18～ 19	ついているため移動させようと動かしたところ、車輪が地面に敷いてあったブラシキの滑り止め部に引っかかり倒れ、地面との間に挟まれて頭、左足等を強打した。	50	229	5	～ 29
2017	4	21～ 22	荷降ろしを終えてトラックに戻る際に、当センターの階段を下りている時に受傷した（右腓腹筋肉離れ）。	50	413	19	10 ～ 29
2017	4	20～ 21	ベルトコンベアの上に、ダンボールが溜まり、詰まりを解消する為、取り出そうと作業を行う際、ベルトコンベアの中に軍手が挟まり、右手人差し指・中指薬指3本が同時に巻き込まれ損傷した。	33	224	7	30 ～ 49
2017	4	11～ 12	客先構内でトラックより荷降ろしの際、手を滑らせて20kgの物品（ダンボール）が右足に落下し、安全靴の金具のない部分を受傷した。	63	611	4	10 ～ 29
2017	4	10～ 11	自動車学校増設現場にて、バラセメントをタンク車から設置しているタンクに注入している時、セメントがホース内で詰まった。逆流させる為にエアーを抜こうとしてホースを点検していたら、セメントが吹き出て顔や体に付着し目に入った。	49	391	4	10 ～ 29
2017	4	23～ 24	店前路場にて荷積み中に、落とし蓋を開けて商品車を取りに降りようとした時、雨で濡れていたフロアーに左足を滑らせ落とし込み（高さ60cm）に足が嵌まった時に、落とし蓋の突起に手をつき左手を裂傷した。	42	221	2	10 ～ 29
2017	4	9～ 10	積んだ車輛を降ろす作業中、最後の1台を降ろすため左に移動する際に、いつも通りの慣れで下を見ずに足を移動させたら隙間に足を入れてしまい、転倒して左脛裂傷、右手親指骨折を負った。	45	391	2	10 ～ 29
2017	4	8～9	工事現場に2次コンクリート製品（水路壁）重量1.6トンの納入の為に車両荷台から小型移動式クレーンで吊り金具を使用し降ろす作業中、製品を地上に置き、吊り金具をはずしウチを巻き上げたが、吊り金具が完全にはずれていなかったため製品が倒れ、車両の荷台	55	212	7	50 ～ 99

			と製品に挟まれた。				
2017	4	15～ 16	工場内にて、残土の積込運搬作業中、ダンプを降車し重機に乗車するため整地されていない足場の悪い土の山の上を徒歩で移動中、最初の一步を踏み出した時に左足を痛めてしまった。	64	921	19	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	車庫で車両整備中にインパクトレンチのエアホースが外れ、高圧エアの勢いでホースが制御不能となり、左目に当たり出血した。	48	379	6	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	コンクリートミキサー車で作業終了後、洗車の為フェンダーに登る時、手すりを掴んだつもりが掴んでおらず、バランスを崩して0.6mの高さから落下し、左足かかとに全体重がのる形で着地した。	60	229	1	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	本社工場のタンクローリー耐圧検査準備を行っていたところ、次の作業に入るため、焦ってタンクローリーの階段を下って（後ろ向きに）降り着地したところ、バランスを崩し後方に体が大きくよろけ、後ろにあった台車の手押しバー部分に腰を強打した。	44	229	3	—
2017	5	15～ 16	荷台でビールケースを持ち上げた時に腰を痛めた。	36	611	19	10 ～ 29
2017	5	13～ 14	生コンクリートを下ろし終わった後のシュートを洗い流して、残水バケツに水を納め、その残水バケツの水を生コンクリートを積み込むホッパー部分へ戻す際に、ステップを上っていたときにバランスを崩し、左前太ももを負傷した。	39	221	19	1～ 9
2017	5	16～ 17	営業所へコンテナを持って行き、コンテナの後に付いているシール（封印）の番号を確認してもらった後にシールカッターで封印を切る時に、右胸の下の方に当たってしまった。その後、痛みはあるが仕事を続けていたところ、痛みが酷くなり、仕事に支障が出た。	49	364	3	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	定期ゴミ収集中、徒歩移動しながら収集車へゴミを投げ入れた時に、右足踵横に痛みを感じた。そのまま我慢して作業を続けたが、	25	611	19	50 ～

			その後、痛みが増した。				99
2017	5	11～ 12	工場内で生コン車の洗車中に、不安定な姿勢でブラシを使用して生コンを落としていた時にバランスを崩してバンパーより転落し、洗車袋掛けのフックで右側胸部に刺さり負傷した。	72	221	1	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	ダンプトラックの荷台にのぼり、荷台を清掃している時、荷台に付いた泥に安全靴が滑り、体勢を整えようとした時に膝を捻った。	28	221	2	10 ～ 29
2017	6	6～7	勤務終了後、営業所内シャワー室のシャワーボックスでシャワーを浴び、シャワーボックスから退室した際、シャワーボックス内にシャンプー等を忘れたので、シャワーボックス外から取ろうとした。一歩足を踏み入れるか、しゃがんで取れば良かったのだが、横着をして前屈みで手を伸ばした時に足が滑ってしまい、シャワーボックス扉レールに右足脛をぶつけてしまい受傷した。	57	417	2	100 ～ 299
2017	6	17～ 18	営業所の洗車場において、帰庫後に行う洗車をするために歩いていたところ、左足を捻り、骨折した。	31	417	19	50 ～ 99
2017	6	2～3	配送勤務を終え、会社の所定の駐車場に車両を止め、バイクに乗り替えて、勤務先の事務所へ戻る途中、夜間で雨が非常に強くなり視界が悪く、進行方向前方にトラックが駐車していることに気付くのが遅れ、トラック後部に衝突し負傷した。	57	221	17	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	駐車場で停車したトラックの荷台上で積み荷確認作業をした。作業終了後、座席に戻るため、積み荷の上からシート載せに飛び移り、運転席天井より、梯子を使い降りようとした。荷台の積み荷から、シート載せに飛び移った時にバランスを崩し、地面に転落した。	61	221	1	10 ～ 29
2017	7	20～21	車両荷台から郵便物を入れたパレットを引き出し、郵便局へ下ろす業務を行っていた時、荷台に3台並んだパレットの一番右側を引き出そうとしたところ、しっかり積まれておりキツかったので、パレットを揺らしながら強く引き出した瞬間、グキッと音がし、左の肩を	55	362	19	100 ～

			捻った状態となり、その時引き出したパレットに左肩を軽くぶつけた。その時は痛みもなくそのまま勤務を続行したが、4～5時間後に痛みが出てきて翌日の夜には眠れない程の強い痛みを感じた。					299
2017	7	4~5	有限会社置場敷地内において、敷地内車庫点検作業にダンプ荷台から誤って足を踏みはずし転倒した。	65	221	1		1~ 9
2017	7	15~16	荷主様支店において自車の13トンセルフローダーに4tダンプ荷積み終了後、荷台から降りる際に本来ならばセルフの後ろから降りるのだが近道をし高さ70cm位の所から飛び降りて左足首を負傷した。	49	417	3		30 ~ 49
2017	7	9~10	ダンプトラックで砂運搬中、片側交互通行停車中、後方から追突事故に、巻き込まれた。	65	221	17		1~ 9
2017	7	9~10	現場でミキサー車の後方ステップから地面に降りた際、段差が3cm程あったため、右足をひねり骨折した。	53	221	19		10 ~ 29
2017	7	10~11	冷蔵庫内の空クレート整理中、土台パレットの奥にある空クレートを手前に引っばる際、土台パレットへ左足を乗せようとしたところ目測を誤り、左足が届かずバランスを崩しパレット角で左膝を強打した。	32	362	3		100 ~ 299
2017	7	13~14	石油製品を積込する時ローティングアームを片手で引き寄せたため、腕に負担が掛かり右腕を負傷した。	55	391	19		10 ~ 29
2017	7	5~6	当会社の敷地内で、被災者が大型トラックの荷台に上がり、荷物をパレット積みしていたところ、足を踏み外してバランスを崩し、荷台から転倒し、右肩を強打した。	44	221	1		1~ 9
2017	7	10~11	4トントラックで鉄工所へ鋼材を納品した後本社へ戻る途中、出口付近に於いて、赤信号で停車していたところ、軽自動車から追突され、頸部及び腰部を負傷した。	62	221	17		30 ~ 49
			工場セメント納入サイロにて、セメントを荷降ろし中、バラ車タン					

2017	7	4~5	ク内にエアーを送るラバーホースが破損した。そのため荷降ろしを中断し、タンク内の圧を抜き、工場側配管から排出ホースを徐々に取外した際、工場側配管に詰っていたセメントが逆流し、飛散して両眼を被災、薬傷した。	49	221	12	~	49
2017	7	9~10	ハウスをつるワイヤーをはずすため、ハウスに脚立をかけて登っていたところ、脚立が滑り、バランスを失って転落し、脊椎を圧迫骨折した。	47	371	1	~	29
2017	7	13~14	倉庫内にて、フォークリフトを充電場所に保管するため、後進にて進行し、停止させようとブレーキをかけた時、スリップし壁面に衝突。災害発生時、倉庫内の湿度は高く、床面に水滴が付着し滑りやすい状態だったが、進行方向の安全確認を怠り走行時速の出し過ぎでスリップし、壁面とフォークリフトの間に左足を挟まれた。	24	222	7	~	299
2017	7	10~11	コンテナ内で客先パレットへ荷物（木材）の乗せ替えを終えソフトマンガーフォークリフトを後退させたところ、荷物を載せた木パレットが割れ、次の荷卸準備をしていた作業員の足に、崩れた荷物が落下した事故である。	27	222	5	~	49
2017	7	18~19	空パレットを整理整頓中、床のスベリ止め用凸凹にパレットの車輪が引っかかり、パレットが倒れそうになったため、手で止めようとした。その際に無理な体勢で踏んばったため、右足大腿部裏側を痛めた。	59	921	19	~	49
2017	7	9~10	納品先にて、3段積ドラム荷卸しの際に、ドラム缶を背にしているとき、一番上（3段目）のドラム缶が被災者の上に落ち、ドラム缶とともに荷台から落ちた。	42	611	4	~	29
2017	7	8~9	中古車オークション会場構内で、キャリアカーから商品車の荷降ろし作業を行う際、台車上を右側から左側へ渡ろうとしたとき、ワイヤーに足が引っ掛かり転倒した。その際、右膝を台車で強打したものである。	46	221	2	~	49
			被災者は、ダンプで浚渫工を運搬完了後、作業場となる敷地内で、					

2017	7	16~ 17	ダンプについて土をエンジン式高圧洗浄機で洗浄していた。左側の洗浄を終え、上げているベッセル下に洗浄機ノズルを置き、反対側に回って引っ張ろうとしたところ、何かに引っ掛かり、引っ張れなかったので、後輪タイヤに上がって思いきり引っ張ったところ、反動で後方に倒れ、タイヤ上から転落した。	70	221	1	1~ 9
2017	7	11~ 12	シート掛けをしていた際に、ゴムが切れて後向きに倒れた。荷台から落ちたものではなく、地面に立ってシートに付いているゴムを引っ張っていたところ、ゴムが切れてしまい、後向きに倒れたものである。その際、ヘルメットを装着していたので頭部への重篤な負傷はなかったが、頸部を負傷したとのことである。	55	221	1	1~ 9
2017	7	16~ 17	貨物トラックにて、営業所に搬送してきた商品を降ろし終えて、トラックに戻る途中、地表面のアスファルトが大きく割れている箇所があり、その割れ目に足を取られ捻って、負傷したものである。	42	417	19	10 ~ 29
2017	7	11~ 12	郵便局に向かうため、小学校前交差点を通過後、渋滞により前車両が減速停車をしたため、当方車両も減速を行ったとき、後方の相手車両が追突し、首及び胸、背中周辺を痛めた。	43	231	17	50 ~ 99
2017	7	17~ 18	鋼材をトラックに積込後、埠頭内本社車庫に帰庫し、荷締ワイヤーの整理をするため、荷台に上がり、積荷の鋼材の前部で（キャビンとの間は約70cm）、ワイヤーを左手に持ち引き上げようと後方に引いたとき、積荷の鋼材に左肘が当たり負傷した。	36	521	3	50 ~ 99
2017	7	11~ 12	荷主先にてコンテナ内でパレットに積み付け中、コンテナ内の残りの製品番号が見える側で確認しようとしたとき、コンテナと架台の隙間に落下して肋骨を骨折した。	56	221	1	10 ~ 29
2017	9	11~ 12	得意先の依頼で船橋港の荷扱い先で積み置きする為に入り、運転席右側の荷台あおりを下ろし、自分は後から降りようと左足を後部バンパーに掛けて、そのあおりに手を掛けて降りた時、助手席左側のあおりを朝の荷下し現場の職人の方があおり止めを掛けてくれたと思いこみ、自分の右足をバンパーに掛けて降りようとしたら、その	55	221	1	10 ~ 29

			まま後部あおりごと落ち、強打した。				
2017	9	11～ 12	得意先において、ガスボンベを据え付けるため、まわして移動させていたところ、草地において、草に足を滑らせバランスをくずして、右足首をひねって骨折した。	44	611	19	30 ～ 49
2017	9	8～9	配達先工場入庫前待機中、荷卸し準備の為、荷台（平ボディー）のシートを外す作業及び積荷の確認を行っていた。シートの端が積荷の下に敷かれていた為、荷台側面とガッチャで固定されている後部アオリを倒す必要があり、一旦ガッチャをゆるめた。シート外し作業を終え、積荷状況確認の為、後部アオリに乗った所、ガッチャが外れ地面に落下、両足で着地するも腰を圧迫してしまい負傷した。	58	221	1	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	移動式クレーンを用いて、船殻部材の積み下ろし作業を行っていた、トラックにロンジ材を積み込んだ後、被災者が補巻きを解き、クレーン運転士に指示をして補巻きをクレーン上部に戻していた所、主巻きにかけていたワイヤー4本が被災者の頭上に落下して受傷した。	45	372	4	10 ～ 29
2017	9	15～ 16	ロジ3階に到着し、接車場所を確認するため8トン車両から降りようとした時、雨で車両乗り降り用のステップが濡れていたため、足が滑り右手から地面に落下し、右手を負傷したものである。	61	221	1	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	敷地内で、木材の荷降ろし作業の準備のため荷物を支えていたラッシングベルトをはずした直後に積荷の丸太が1本頭上に落下して来た、その場で、後ろに倒れた。	57	522	4	1～ 9
2017	9	16～ 17	工場の製図ベビー断裁機で、当日最後のロットのセットを開始した、当該ロットの材料を二つ割にする作業で、セットが終わり試験通紙を行うために1枚の材料に左手をのせてフィードロールに送り込もうとして、材料と一緒に左手をフィードロールに巻き込まれた。被災者はすぐに自分の右手で非常停止ボタンを押して機械を止め、製造メンバーが安全カバーを外しバールでフィードロールを開けて	52	169	7	30 ～ 49

			被災者を救出した。				
2017	10	8～9	商品自動車(2t)を搬入し、同社敷地内で、ブラシでシャーシを手洗いしていたところ、滑ってバランスを崩し、シャーシの左後部に体がぶつかり、左脇バラをぶつけたものである。	70	221	3	1～9
2017	10	3～4	納品先で作業を完了し、ジョロダーを返そうと、片手で持ち上げた際、右腕を痛めた。	47	921	19	100～299
2017	10	1～2	工場で積み込み作業中、軽油のアームを移動させた時に足を滑らせ、ローリーランニングボードとスイングステージの隙間に左足が入り込み負傷した。	47	419	3	10～29
2017	10	18～19	工場出荷場において、パンの仕分作業中にデジタル表示機レールに出っぴりがあり（修復済）台車と接触し押していた作業員の左足が台車とぶつかり負傷したものである。	44	362	3	100～299
2017	10	11～12	顧客先に、22食分（3バット・1ハッポー、味噌汁缶1個）の弁当を一度に持ち納品のため、3段のせまい階段を横向きで下りている最中に、体勢が崩れたため、持ち直そうと力を入れたところ、腰に激しい痛みを感じ負傷した。	30	921	19	10～29
2017	10	8～9	敷地内にて洗車中、キャビン上部に登って作業後、地上へ降りる際に足を滑らせ転落したもの。大腿部付け根骨折。	50	221	1	1～9
2017	10	10～11	負傷者は、貨物駅構内の上にてフォークリフト運転者と2名で商品（返却架台：約400kg）をコンテナへ積み込む作業を開始した。商品の足元にフォークリフトの爪を差し込み持ち上げたが、商品の重心が高くバランスが悪かったため、負傷者は商品を支えながら作業を続けた。負傷者が商品から手を離れた際に商品のバランスが崩れ倒れそうになり、咄嗟に支えようとしたが支えきれず商品が落下し下敷きとなり左足を負傷した。	35	222	5	30～49
			車上の製品（高さ約90cm）から荷台上に下りる時、レインコートの				30

2017	10	14～ 15	ズボン同士が引っ付いてバランスを崩し、荷台上に転倒し、背中を打った。その後連絡をもらった者がうずくまっていた被災者を発見し、救急車を要請した。	52	911	2	～ 49
2017	10	10～ 11	積込に備えて、トレーラ荷台上で尺角（長さ2.5m、厚み15cm×20cm）を並べかえる作業をしていた。両手で尺角の片方を抱えて引きずりながら荷台の右端を後ろ向きに歩いていた処、左足が雨で滑り易くなっていた荷台の鉄フレームにかかり、安全靴が滑り、左足から地上に落下した。	52	221	1	～ 99
2017	10	17～ 18	鉄骨を平台車に積込の作業中、リン木がおれて右側肋骨におれたリン木があたった。事故現場は、積み込み作業中鉄骨の柱を積み込み作業終了、荷じめ（ワイヤかけ中）にリン木がおれた事故。肋骨にヒビが入った。	54	221	6	～ 49
2017	11	10～ 11	引越荷物を載せた2tトラックの助手席に乗っていて、高速道路にて目的地へ向かう途中、雪が降り路面状況が悪いため、時速50～60kmで走行していたがスリップし、トラックが進行方向左側のガードレールに衝突した後、跳ね返って中央のガードレールにも衝突する事故が起こった。事故直後は全身に特に異変はなく、事故処理後にトラックを入れ替え、夕方通常通り引っ越し作業を完了させた。徐々に首の痛みが強くなってきたものの、出張が続いたため2日後の病院受診となった。	26	221	17	～ 29
2017	11	21～ 22	配送業務で、赤信号で停止していたところ、後方より、相手車に追突され、頸椎を捻挫したものである。負傷後、我慢できる痛みの為、そのまま勤務していたが、首の痛みが増してきたため、休日に実家近くの病院で受診したものである。	69	231	17	～ 9
2017	11	6～7	工場内のバンバリーミキサーによる混練作業後、排出時のドアに挟まっている物を取り除く際、指が触れ、右手中指・薬指の爪上部より裂傷した。	58	379	19	～ 29
			荷主構内で製品をトラックに積み込みトラック待機所に移動しト				

2017	11	15~ 16	ラックをとめ、輪留めをかけヘルメットを着用し、あおりを閉めた状態で荷台に上がった。製品をラッシングベルトで固縛している最中に、ラッシングベルトが外れたためバランスを崩し後方に倒れ、あおり（高さ50cm）を乗り越え左肩から地上に落下した。	48	221	1	10 ~ 29
2017	11	14~ 15	倉庫内においてピッキング作業をしていた、作業開始2時間後、棚の一番下にある商品を取るため屈んだ際、左膝に痛みを感じた。	20	921	19	100 ~ 299
2017	11	13~ 14	倉庫内において仕分作業を行っていた。作業台にある帳票を取りに行こうと作業台の手前で歩行を停止しようとした時、靴裏が滑り易かったため滑りそうになり両足を踏ん張った際、背中に痛みを感じた。	40	921	19	100 ~ 299
2017	11	12~ 13	ダンプの荷台で作業して梯子階段を下りて地面のコンクリートの段を踏み外して、足首を捻って骨折した。	58	417	19	1~ 9
2017	11	8~9	片側2車線の道路のうち、高速を降りようとしている車で走行車線が渋滞しており、先方の車両は渋滞の先頭に割り込もうと試みた。しかし割り込むには十分なスペースが無く本線に戻った。その際、側方の確認を怠って急なハンドル操作で追い越し車線まで車線変更してきた事で、当方車両の左側部に衝突した。	35	221	17	30 ~ 49
2017	11	11~ 12	構内において、トラックの荷台から降りる際に、キャビン横の手摺りからサイドバンパーへと足場をつたって降りていて、高さ60cm程のサイドバンパーに左足を掛けていたが、左足が狭まり抜けなくなってしまったためバランスを崩して転倒し、両手をついた時に左手に負荷がかかり左肘を負傷してしまった。	45	221	1	10 ~ 29
2017	12	8~9	交差点にてレンタカーを回送中（業務）、凍結路面にハンドルを取られスリップし中央分離帯に衝突した事故である。	54	221	17	30 ~ 49
			配送先において作業中、トラックのゲートを上げた際に、車体とゲート間に右足先端を挟んでしまい負傷した。上降装置のゲート				10

2017	12	4~5	を使用する際に、ゲート①の位置からゲート②へ上昇させた時に被災した。	29	221	7	~ 29
2017	12	20~21	2tトラックのコンテナから後ろ向きで降りる際、ステップに右足をかけようとしたがかからず、咄嗟に左足で地面についたところ、左足踵を負傷した。	45	417	3	~ 99
2017	12	5~6	駐車場で、トラック荷台コンテナの中に入り納品準備後、横ドアから降りる際にステップを踏み外し、落ちていた輪留めの上に足が乗り、転倒して右手で着地したため、右手首を負傷した。	53	221	1	~ 49
2017	12	16~17	ホームと荷台に段差があり、荷室に向かい15cm程度の傾斜があるため、積み卸し作業は通常2名（本人、現場作業員）で行うこととしていたが、積み込む際に1人で行ったことにより、パレットの車輪が脱輪してバランスを崩したため、支えようとしたが支えきれず、パレットと共に落下し負傷した。	51	362	1	~ 49
2017	12	13~14	鉄骨を積み込み中、リン木を片手に持ち、トラック荷台に積んでいた2段目の鉄骨の梁（約7m×40cm×20cm、350kg）に手を掛けて登ろうとした際、梁が手前に傾きバランスを崩し、足場になっていたトラックあおりに落下し、そのあと地面に左半身から落下した。更にそのあと、梁が一旦トラックのあおりに当たって、本人の右腰に落下してきた。	32	521	1	~ 99
2017	12	14~15	仕分作業中、ラック上段の縁を左手で掴み、補助ステップに左足を乗せたときに足首を捻り、落下して転倒した。最上段の製品を抜き取ろうとして片手・片足の状態になり、自重の負荷により左足関節の内反が強制されて転倒したため、自立困難な負傷状態（左足関節捻挫）となった。	22	391	1	~ 299
2017	12	12~13	被災労働者が運転していたトレーラーのトレーラーヘッドが路上で故障した。会社のトレーラーに救援に来てもらい、故障車をトレーラーの荷台に載せて、その運転席から降りるときにステップから足	70	221	1	~

			を踏み外し転落した（地面からの高さ約2m）。その際に肘を打撲し、左肘頭骨折、左鎖骨部打撲を負った。					29
2017	12	11~12	駐車スペースに車を停車し、事務所に向かうためドアを開けたところ、悪天候の強風によりドアが急に開き、開いたと同時に車外へ転落した。	68	221	1	~	10 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html